

◆「笑てっ亭」上方落語と英語落語へのご案内

保護者のみなさまにはすでにお知らせ済みですが、12月5日(火)13時30分～14時40分、飛鳥中体育館において、舞台芸術等総合支援事業(主催:独立行政法人日本芸術文化振興会)として、「笑てっ亭」上方落語と英語落語の公演を開催することになりました。

せっかくの機会ですので、ぜひ中学校にお越し頂いて上方落語と英語落語にふれてもらえればと思います。

参観を希望される方は、事前に飛鳥中学校(TEL84-0004)まで、ご連絡下さい。メ切は12月5日(火)午前中です。

◆くまの未来議会に参加しました。

10月25日(土)熊野市内の中学3年生(107人)が市議会の一般質問や傍聴を模擬体験する「くまの未来議会」が行われました。本校からも3人が参加し、その代表として小山 誓絆さんが「熊野市の観光スポットの整備・管理、PR、観光イベントの開催について」一般質問をしました。傍聴の2人も含め、3人にとって初めての体験で非常に貴重な機会となりました。

◆文化祭が行われました。

11月11日(土)「十人十色～輝く個性を生かして～」をテーマとして、飛鳥中学校文化祭を行いました。

開会行事、生徒会会長山下 怜さんのあいさつの後、生徒の学校生活の様子を集めたスライドショー。1年北本 麻衣さんによる「髪という名のバトン」、2年宇城 にこさんによる「今を大切に」、3年生小山 誓絆さんによる「限界はまだ遠い」の作文発表。地域で活躍されている音楽グループ「ブレスユ-」によるフルート、ハーブ、ピアノ演奏の鑑賞。吉野 菜花さんのピアノ伴奏による「希望という名の花を」と「HEIWAの鐘」の全校合唱と続きました。休憩をはさんで、全校劇「未来のために!」を披露しました。

また、展示コーナーでは、文化部の「羊毛フェルト」等をはじめとして、2・3年生の「修学旅行」のレポート、美術・社会・技術・習字等各教科で仕上げた作品の展示、飛鳥中の活動の様子が掲載された新聞記事の切り抜きも紹介しました。

閉会行事では、文化祭実行委員長北本 結衣さんのあいさつで幕をおろしました。

生徒たちはよくがんばり、文化祭は大いに盛り上がりました。大成功だったと思います。

見に来ていただいた保護者・ご家族・地域の方々誠にありがとうございました。

◆校内研修(研究授業)2年社会を実施しました

11月15日(水)2年生社会の研究授業を実施しました。

東北地方の稲作・果樹栽培・水産業・地形・気候などについて、グループに分かれ、指示書をもとに主題図(※)を作成していくという授業でした。

元三重県学力向上アドバイザーの竹内先生、熊野市教育委員会浦坪指導主事に指導・助言をいただきました。

授業者の指示が明確で、生徒たちは集中して自分たちでグループ学習を進めていた。平素からの指導の結果、生徒がロイロノートをスムーズに操作していた。という講評をいただきました。

※特定の利用目的に合わせた情報や数値が詳しく描かれている地図

◆いじめ防止月間の取組

生徒会が中心となって、取組内容について相談し、全校生徒に生徒会だよりを配付、ピンクシャツ運動の意義を知らせ、取組を依頼しました。そのうえで、文化祭当日(11月11日)、全校生徒・職員がピンクのリボンを

◆12月の行事予定◆

1日(金)ALT 来校、SC来校

3日(日)ふれあい遠足

(お弁当の用意をお願いします)

4日(月)振替休業日

5日(火)巡回公演「英語落語」

ワークショップ(4限)、本公演(5・6限)

8日(金)ALT 来校

9日(土)紀南青少年育成交流会(13:00～まなびの郷)

14日(木)ALT 来校

15日(金)飛鳥中学校研究発表会

18日(月)子どもフェスティバル(くろしお学園)

22日(金)終業式

※学校閉校日12月28日(木)～1月4日(木)

◆1月の行事予定◆

9日(火)始業式

16日(火)授業参観

23日(火)前期選抜願書受付開始

25日(木)3年中間テスト、2年みえスタディ・チェック(国・数)

26日(金)3年中間テスト、前期選抜願書受付締切

30日(火)防災学習(タウンウォッチング)

着用するとともに、来場者に生徒会だよりを配り、ピンクシャツ運動の呼びかけを行いました。

(ピンクシャツ運動は、カナダで誕生した「いじめ反対運動」です。2007年2月、ピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを聞いた先輩が50枚のピンクシャツを購入、他の生徒たちにピンクシャツを着るよう呼びかけました。翌日学校では、呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に付けて登校し、いじめがなくなったという出来事がありました。このエピソードがSNS等でいじめ反対運動として、多くの国に広まっていったものです。)

◆障がい者週間について

三重県教育委員会は「三重県教育委員会における障がい者活躍推進計画」に基づき、共生社会の実現や障がい者が働きやすい環境整備を行っています。本校においても、人権教育カリキュラムに基づき、障がい者の人権についても学習しています。人権問題は当事者の問題ではなく、その人を取り巻く自分たちの問題だと捉えることをねらいとして取り組んでいます。

また内閣府は「障害者週間」(12月3日～9日)に合わせて、障害のある人となない人との心のふれあいの体験をつづった「心の輪を広げる体験作文」の募集を行い、作品集としてまとめています。入賞作品は、内閣府のWebページに紹介されているので、ぜひご覧ください。障がいのある人への理解がより深まると思います。

<https://www8.cao.go.jp/shougai/kou-kei/index-kk.html#sakubun>

◆校区人権フォーラムについて

11月16日(木)飛鳥中学校区人権フォーラムを開催し、飛鳥小・五郷小の5・6年生と飛鳥中の1～3年生が参加しました。今年度は、「お互いに人格と個性を尊重し合いながら共に生きる社会を作っていこうとする意欲を育む」「ユニバーサルデザインについて考える」ことをめあてにユニバーサルスポーツの「ボッチャ」を行いました。中学生が小学生に対してやり方やルールを丁寧に教え、競技や審判を楽しく行うことができました。競技後、付箋を使ってふり返りを行い、障がい者の人権について理解を深めることができました。